

大学院特別講義のご案内

◆ 日時： 2015年2月27日(金) 13:30～15:00

◆ 場所： F棟4階 大学院セミナー室

◆ 講師： 二ノ宮裕三先生

(九州大学大学院歯学研究院 口腔常態制御学講座 口腔機能解析学分野
九州大学・味覚・嗅覚センサー研究開発センター・感覚生理学部門
教授・九州大学主幹教授)

◆ 演題： 口腔脳腸の味シグナル・内分泌連関システムと食調節

◆ 要旨： 味覚は、脳で情動や食行動制御に働き、唾液・消化液・ホルモン分泌を促し、食を通じて健康を維持するために重要な感覚である。近年、味受容体が胃・腸・膵臓にも存在し、味物質が直接糖吸収やホルモン分泌を促すことや、逆に脳の食欲因子や消化管・膵臓の機能分子が味細胞に存在し味の伝達や感受性調節に働くことも明らかになってきた。その口腔脳腸で味情報と内分泌系が連関して働く、味覚・食調節研究の新展開について紹介する。

連絡先： 口腔生理学教室 (内線：2882)